

学校 **東雲** (しのめ)  
だより



TEL 31-3170・31-3180 FAX 32-1130 [http://www.hachinohe.ed.jp/higasi\\_j/](http://www.hachinohe.ed.jp/higasi_j/)

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

## 学校評価委員からの意見・感想

本校では、4名の方に「学校評価委員」をお願いしております。過日、平成24年度第2回学校評価委員会議を開催し、学校評価に関する生徒や保護者の皆様からのアンケート結果についてご説明した後、学校評価委員の皆さんから率直なご意見・ご感想をいただきました。きょうは、それを紹介いたします。（敬体語を常体語にするなど、一部編集しています。）

- ①教職員の基本姿勢に対する厳しい意見があるが、保護者の方々の総意ではないと思う。今の生徒は、精神的にどうしても弱い部分があるので、おこられると立ち直りに時間がかかる。普段から、厳しく指導することが必要ではないか。
- ②先生たちは、生徒とのいろいろな人間関係や一年間の流れの中で指導しているのだと思うが、特定の指導場面や断片的な部分だけを保護者の方々に評価されてもいように、常に「見られている」ということを意識しておくことも大事ではないか。さらに、「叱る・指導する（諭す）・ほめる」の使い分けが必要と考える。
- ③挨拶に対しては、いろいろな見方があるようだが、ただの物体に挨拶するのではないのだから、その中身が大切ではないか。ただ大声を出す挨拶から、心からする挨拶にならなければならない。そういったことを教えてもらいたい。
- ④地味で目立たない生徒の考えや思いを、今以上に引き出してもらいたい。
- ⑤インフルエンザワクチンの予防接種は、可能であれば先生方も積極的に受けた方がいいのではないか。
- ⑥生徒たちに熱心に関わる先生方が多いように感じられる。
- ⑦10月の「地球のステージ」に参加させていただいたが、とても素晴らしい内容だった。日程の調整等大変だと思うが、多くの保護者や地域の方々が参加できるよう、もう少し積極的に案内をすればいいと思う。
- ⑧学校への安全性の評価がとても高いのはいいことだが、保護者アンケートの意見にもあったように、外周を走る時の注意が必要だと思う。私も何度か危ないと感じる時があった。
- ⑨大変暑い中での体育祭や、生徒全員の輝きたいという願いが感じられた文化祭など、先生方や生徒たちの頑張りが感じられた。生徒たちの一人ひとりを知らない私でも、とても楽しく見させていただくことができた。

- ⑩「地域密着型教育」も始まり、バベロボの幼稚園や高齢者施設訪問、よさこいの踊り披露など、限られた時間の中での活動がますます大変になってくると思うが、今後も若い力で地域を明るくしていただきたい。
- ⑪今年度は、いろいろな行事や活動を見せていただいたが、どの行事においても生徒の態度は素晴らしく、一生懸命に頑張る姿やきちんと聴く態度、心から楽しむ様子などに好感が持てた。特に、市中体開会式の入場行進はどこよりも立派で、誇らしく思えた。
- ⑫学校から、行事等での「活動」と授業や学習面での「学び」のバランスがとれているとは言い難いという説明を受けたが、大変気になった。「活動」は集団で努力したことが結果に表れやすく、先生と生徒、生徒同士の気持ちも共感しやすいと思うが、「学び」は集団で頑張るといよりは、生徒一人ひとりの努力が必要となるため、「活動」よりも意欲的に取り組みにくいのだと思う。両方が共に高まっていけるような指導を期待したい。
- ⑬生徒アンケートから、生活全般に関わる意欲の低下が課題であり、それが喫煙や万引き、校内の落書き行為など、少し前はあまり聞かなかったような問題行動につながっているという説明を受けた。簡単なことではないと思うが、家庭と連携して問題解決に努力してもらいたい。
- ⑭保護者アンケートの結果を見ると、先生と保護者の間の距離を感じた。その原因の一つとして、情報発信に関しての不満が考えられる。保護者は、早くて密な情報を望んでいて、特に学校に足を運べない保護者にとって、子どもとの会話以外で学校の情報を得るのは、学級通信、学年通信、学校だよりだと思うので、中でも一番身近な学級通信は、できるだけ頻繁に出してほしいと思う。
- ⑮学校と地域の連携が重要視されているが、グッジョブやバベロボ公演、Yosakoiの踊り披露など、地域との関わりは大いに評価できる。しかし、教職員による「地域社会に貢献する力を育成する指導の工夫」の項目の評価が低かったのは、意識はあっても、それを実際の行動に移すには少し難しかったのだと思う。そこで、今年度から始まった「地域密着型教育」推進のために設置された「地域学校連携協議会」と連携し、いろいろな取り組みをすることで地域に貢献できていくのではないかな。
- ⑯東日本大震災を契機とした災害時の生徒の安全確保や避難所としての学校の役割はもちろんのこと、猛暑による熱中症対策やいじめ・体罰など学校が抱える問題はたくさんあり、保護者はそういったことにとっても敏感になっていると思う。しかし、学校、地域、家庭が密に連携することが、様々な問題を解決に導く方法なのだと思う。そして、地域の方々の多くが、何かしら役に立ちたいと考えている。学校が先頭に立って各方面に働きかけることで距離が縮まり、地域が学校を支え、学校も地域に貢献できるのだと思う。

学校評価委員の中には、前身の学校評議員の頃から6年以上、貴重なご意見等をお寄せいただいた方もいらっしゃいます。これまで学校評価委員をお願いをしておりました「学校関係者評価」は、今後、今年度から組織した「地域学校連携協議会」で行うことになり、それにともなって、学校評価委員制度も発展的に解消することになりました。長い間、貴重なご意見やご指摘をいただいたことに、心から感謝申し上げます。これからは、地域住民の一人として、本校を見守っていただければと思います。本当にありがとうございました。（文責；教頭 工藤聡）